



# むびょうニュース



免疫革命  
…安保徹1,600円  
誤診列島  
…中野次郎1,680円

## 医者が知らない免疫の話

免疫学の先生は別として、一般の病院の先生は恐らく免疫のことを詳しく知りません。日本では医師の免許を一度とってしまえば、死ぬまで医者です。これを当たり前のように思っていたら大間違いです。運転免許だって更新しなければいけないのです。それが人の命に係わる医者の免許に、更新がないのがおかしいのです。更新がないってことは、つまり医師免許を取ってしまえば、そのあと何の勉強をしなくてもずっと医者のままな訳です。医療ミスが多発したアメリカでは3年に1度、医師免許を更新します。さらに、医師会が認めた新しい医学の知識を毎年50時間受ける必要があります。日本では、いまだに終身免許制度。

というわけで、医者の多くはこの免疫理論を知らないわけです。自分で情報を収集して、自分の身を守るしかないわけです。ここで安保徹先生の【免疫革命】のトピックを簡単に説明します。

- 熱や痛み、具合の悪さは、体が治る反応だった
- 熱、痛みをとる現代医療こそ病気の元
- 薬は、粘膜を痛め、極度に体を冷やすから、病は余計にひどくなる
- ガンに手術、抗がん剤、放射線治療は逆効果だった
- 冷たいビールは自殺行為
- 風邪も熱も止めてはいけない
- ステロイドも湿布も今すぐやめなさい
- これからの病気の治療法とは血流を良くして、体温をあげ、白血球のバランスをとること。

白血球は、主にリンパ球と顆粒球に別れます。このバランスが崩れると、病気になってしまいます。白血球は血液1000分の1ccの中に、5000~10000個ほどあります。この中で、理想的な割合は、リンパ球4割に顆粒球6割です。リンパ球は、リラックスすることで増えます。顆粒球は緊張することで増えます。どちらが増えすぎてもよくありません。どちらに偏りすぎてもがんになる可能性があります。【健康のコツは、無理しすぎてもいけないし、楽しすぎてもいけない】ということです。すでに、もうガンになっている人は、白血球のバランスを取ることで、治る確率は7割にも高まります。そのためには、手術、抗がん剤、放射線はバツェンと安保先生はおっしゃっているわけです。

36.5度の体温がどれだけ大切か、一度低い35.5度になるだけで免疫力の45%、新陳代謝の60%が失われてしまいます。体内の微生物や酵素が、まともに働けなくなってしまうのです。病気にかかりやすくなるだけでなく、一気に老化も進みます。

安保先生は女性に温かさが大切な理由を伝えています。

- 女性は男性より血管が細いため、体の隅々まで血液が行きわたりにくいので、体を温める必要がある。
- 女性には筋肉が少ない。体の熱は筋肉で作られている
- 子宮や乳房は、赤ちゃんを育てることのほかに、その機能が働くことはない。普段使わないものがさびたり痛みやすいのは、体内でも同じこと。だから、もともと血行が滞りやすい器官と言える。このため、子宮や乳房にいつも十分に血液を送るよう体温を保つことが、とても大切になってくる。最近の女性は、冷え症で寒がりなのに、薄着で体を冷やす食べ物が好きだ。婦人病が多いわけがうなずける。

さらに安保先生から興味深い話が飛び出しました。『O-157とヒ素入りカレーで亡くなった人たちは、みんな下痢止めを飲んでいたらだよ。助かった人たちは飲んでいなかったんだ』この場合の下痢は、口から入った異物を排泄しようという体の治療反応でした。ところが西洋医学では、多くの場合、その下痢を止めようとします。熱が出れば下げ、痛みがあれば痛みを止めます。つまり、熱や痛みという体を守るための反応を抑え込んで、治ったと誤っているわけです。こらえきれないほどの痛みや、命に危険な高熱など、緊急な時には、これらの治療も必要でしょう。しかし、それ以外、治療反応を止めることは、体にとって害になってしまうというわけなのです。

### 暴飲暴食、急性膵炎に注意

急性膵炎はタンパク質の消化液である膵液の分泌が活性化されて膵臓自体を溶かしていく病気。東京医科大学の糸井隆夫准教授は『男性はアルコール性、女性は胆石が基盤となる胆石性膵炎が多いのですが、いずれも暴飲暴食、特に食べものでは脂っこいものの食べ過ぎが大きな原因になります。』と話す。軽症の場合はみぞおち辺りの痛みで済むが、炎症全体がひどくなると腹部全体や背中の左側に差し込むような痛みが生じる。『痛みが激しく、背中をエビのように丸めないと耐えられないほどです。さらに重症例では膵臓が溶けてしまい、生命に関わります』暴飲暴食後、数時間して腹部や背部に激しい痛みを自覚した時は、緊急の対応を考えよう。『この病気は、いわば【おなかのやけど】で、治療は絶飲絶食が原則です』毎日飲酒すると急性膵炎のリスクは上昇します。またすでに胆石が発見されている女性の場合は、より注意するようにしてください。